

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成30年 3月

## 1 東京都中央卸売市場(平成30年1~2月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は27.9万 tで、前年比11%減、金額は1,000億円の前年比7%増となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約3.4万 tで、前年比4%減、金額は約103億円の前年比26%増となった。  
(金額の内訳は、野菜91億円、果実12億円。前年同期比で野菜30%増、果実3%増、平年同期比で野菜44%増、果実11%増)  
→金額が【増加】した品目(前年対比)：こまつな(179%)、はくさい(169%)、いちご類(103%)  
→金額が【減少】した品目(前年対比)：トマト(85%)、れんこん(89%)
- ③ 茨城県の1~2月計の青果物入荷量は平年比98%(シェア12.2%)、取扱金額は同139%(シェア10.3%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~2月計)		
	1~2月計	年間計	年間比	1~2月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木
数量	H30	279,246		34,102	←シェア(12.2%)		12.4%	10.3%	3.5%
	H29	315,118	1,993,784	15.8	35,439	15.0	13.7%	9.2%	3.1%
	(前年比)	89			シェア(11.2%)				
	平年値※	312,713	2,003,425	15.6	34,744	15.2			
	(平年比)	89			シェア(11.1%)				
金額	H30	100,149		10,307	←シェア(10.3%)		9.7%	3.3%	7.6%
	H29	93,219	570,001	16.4	8,159	13.6	9.5%	4.1%	8.0%
	(前年比)	107			シェア(8.8%)				
	平年値※	88,520	553,870	16.0	7,398	13.2			
	(平年比)	113			シェア(8.4%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成25~29年の5ヵ年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成29年実績  
(1~12月計)

茨城県：金額シェア(10.6%)、数量シェア(11.9%)  
千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(10.9%)  
北海道：金額シェア(5.9%)、数量シェア(11.6%)  
栃木県：金額シェア(5.6%)、数量シェア(3.1%)

## 2 東京都中央卸売市場(平成30年2月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

( )内は前年対比

野菜類の入荷量は約1万5千トン(95%)、単価は286円(131%)、金額は約42.5億円(124%)

果実類の入荷量は約6百トン(104%)、単価は1,183円(105%)、金額は約6.6億円(109%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成25~29年同月の5ヵ年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)				金額(千円)			
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	はくさい	7,935	104	104	104	149	166	240	232	1,186,005	173	250
	れんこん	704	130	98	98	500	71	102	102	351,760	92	100
	こまつな	492	93	125	90	594	173	168	164	292,157	161	210
	みずな	462	78	78	74	570	182	160	158	263,327	141	124
	<b>野菜類計</b>	<b>14,825</b>	<b>95</b>	<b>97</b>	<b>90</b>	<b>286</b>	<b>131</b>	<b>140</b>	<b>129</b>	<b>4,246,135</b>	<b>124</b>	<b>136</b>
果実	いちご類	555	104	112	110	1,188	105	106	103	659,532	109	118
	<b>果実類計</b>	<b>560</b>	<b>104</b>	<b>112</b>	<b>89</b>	<b>1,183</b>	<b>105</b>	<b>106</b>	<b>120</b>	<b>662,337</b>	<b>109</b>	<b>118</b>

(野菜)

- はくさい 茨城県産はくさいは、前年の10月以降の台風等の天候不良の影響から作柄がやや不良であったが、作付け面積増加と出荷前倒しにより、入荷量は平年を上回るペースが続き、下旬は残量不足が見られたものの、前年比104%、平年比104%と多かった。市場全体でも、高値基調のため兵庫産の入荷量が増え(前年比142%)、平年比104%と平年を上回った。本県含め、各産地とも出荷前倒ししたため、月末に向かって入荷量が著しく減少したことから単価は高騰し、茨城県産は前年比166%、平年比240%と非常に高く、金額も前年比173%、平年比250%と非常に高かった。
- れんこん 茨城県産れんこんは、8月中旬の曇雨天等の影響から作柄は平年を下回ったものの、入荷量は前年比130%、平年比98%と、少なかった前年よりは増加、市場全体では平年比98%であった。単価は、1月中旬以降は軟調気味に推移し、前年比71%、平年比102%と平年並み、金額は、前年比92%、平年比100%であった。
- こまつな 茨城県産こまつなは、年明け以降の低温続きにより、発芽に要する日数が長引いていることから全体的に遅れ気味であり、作柄は平年を下回るものの、作付け面積が増加傾向であることから、入荷量は前年比93%、平年比125%と平年を上回った。市場全体では、埼玉(前年比77.6%)等の他産地も同様の理由から作柄が平年を下回り、平年比90%と少なかった。レタス等の入荷量回復に対し、近在産地を中心とした軟弱野菜類の入荷量の回復は見られず、単価は高値基調が続く中、茨城県産は前年比173%、平年比168%と非常に高く、金額も前年比161%、平年比210%と非常に高かった。

(果実類)

- いちご類 茨城県産いちごは、頂果房から一次腋果房への切りかわりが大きな谷間なく順調であったことや、2月上、中旬と本格的な一次腋果房の出荷ピークに入ったことから、入荷量は、前年比104%、平年比112%と多かった。市場全体でも、栃木県(前年比104%)等の他産地からの入荷量が多かったことから、平年比110%と多かった。単価は、高値基調が長引き、3月現在も保合い相場で堅調であることから高く、茨城県産は前年比105%、平年比106%、金額は前年比109%、平年比118%と高かった。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績及び東京青果物情報センター速報値を基に算出